

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
地域課題への取組					
地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	7月8日と1月14日	なにわ区ラボ『U-50』など	50歳以下の若手による地域課題の勉強会。「子育て世代」「子どもの実態」等のテーマについて開催し、今後も継続予定。	7月:22名参加。 1月:30名参加。
		6月～	なにわ区リサーチ	地域活動に参加したことのない地域住民の関心を引き出すため、「子育て」、「防災」などについてアンケートを実施(全3回)。	6月実施子育てアンケート:54通回収 8月実施防災アンケート:104通回収 10月実施キッズリサーチ:156通回収
		2月19日(予定)	地域活動協議会会長会におけるCB・SBの勉強会	浪速区と中央区で「地域活動」「持続的な事業資金の確保」「やる気のある若者・事業者」をテーマにさまざまな事業に取り組む講師を招き、勉強会を開催する。	浪速区内の全地活協会長が出席予定。
	法人格の取得	9月10日	7289ラボ「教えて！となりのちかつきょう」開催	地域活動の研究会「7289ラボ」において、鶴見区のNPO法人榎本地域活動協議会の役員をお招きし、活動内容をお聞きした。	28名参加。
つながりの拡充					
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	4月～	恵美高齢者見守り活動	百歳体操や茶話会を通して、高齢者が定期的に集い交流するための場をつくっている。	各回約15名参加。
		平成26年4月～	マンション住民に対する啓発活動	地域につながるの少ないマンション住民に対して「防災」をテーマに啓発活動を実施。	難波元町地域と塩草地域で勉強会が実施された。
		7月26日	マンション住民の地域活動への参加支援	地域活動に関心のあるマンション住民を、地域活動に取り組んでいる若手役員に紹介。「やりたいこと」の意見交換に立ち会った。	まちづくりセンターが仲介し、3/14にマンション住民と区役所による防災・防犯勉強会を開催予定。
		8月20日	日本橋中学校夏祭り	日本橋中学校PTAによる単独事業を、同校下の地活協にも参画を呼びかけ地域の行事として開催した。	約300名参加(参加者・スタッフの合計)
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	4月～	なにわ区ラブにおける『会長のお仕事』	まちづくりセンター発行の情報誌(なにわ区ラブ)において、地域団体の活動を紹介。	各号5000部を配布。
		11月27日	なにわ区ラボ「防災」	まちづくりセンターと浪速区青少年指導員、浪速区PTA連合会、浪速区役所が連携し防災勉強会を開催。大阪市危機管理室からのレクチャーの後、図上訓練を実施した。	67名参加。
		1月14日	アンダー50「小学生からみた浪速区って？」	全10地活協の50歳以下の若手役員による研究会を開催。地域で行われている子どもを対象にした事業について、事例報告会を実施。また、まちづくりセンターが独自に実施したキッズリサーチ結果についても報告をおこなった。	30名参加。
	地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】	8月4・5日	盆踊り大会	塩草小学校と立葉小学校が統合して初めて盆踊りを開催するにあたり、両方の地域が協力して広報をおこなった。	2日間でのべ800名参加。
		8月20日	日本橋中学校夏祭り	日本橋中学校PTAによる単独事業を、同校下の地活協にも参画を呼びかけ地域の行事として開催した。	約300名参加(参加者・スタッフの合計)
	地域公共人材の活用	10月16日	地域活動協議会会長会の開催	浪速区役所市民協働課とともに地活協の会長会を開催し、制度について改めて情報提供をおこなった。	10地域の会長を対象。
組織運営					
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	通年	運営委員会の支援	地活協の運営委員会に出席し、定数、議事の進行、議事録作成などの支援をおこなっている。	全地活協で実施。
		通年	運営委員の役割の明確化	地活協の役員の役割を整理し、円滑な運営ができるよう役員間の調整をおこなっている。	全地活協へ展開中。
	会計事務の適正な執行	5月～	「H26会計の注意点」配布	補助率や会計ルールの変更点をまとめ、各地活協の会計や事業担当者に伝達するために資料を作成・配布した。	全地活協に配布済み。
		9～10月	中間決算における会計ワークショップの開催	会計作業に立ち会い、手順をレクチャー。補助金の執行状況を確認するためのエクセルシートも提供し、会計面の自立を支援している。	10地活協中、9地域で実施済み。
		12月10日	なにわ区ラボ「会計はつらいよ」	地活協で会計を担う人のための勉強会を開催。支援員の担当地域ごとにグループワークをおこない、各地域の会計のアイデアを交換。また、補助金のしくみについて積み木を使いレクチャーをおこなった。	45名参加。
	多様な媒体による広報活動	4月～	地活協だよりの発行	まちづくりセンターが「地活協だより」のひな形を提供し、情報発信をおこなう。	10地活協中、9地域で発行済み。残る1地域は3月末までに発行の見込み。
		平成25年～	区役所ホームページでの情報発信	事業計画・報告、活動内容などを情報発信	おおむね月1回の頻度で更新中。
		6月～	浪速区だより「なでしこ」での地活協情報の発信	コーナー「7289ラブ通信」において、地活協のイベントを紹介する「地域イベントピックアップ」を掲載。	6月号より毎月掲載。

地域活動協議会への支援状況(運営)

【浪速区】(受託者:株式会社 地域環境計画研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績 (参加者数等)
		8月～	フェイスブック、ブログの作成支援	まちづくりセンターが製作方法をレクチャーするなどし、情報発信をおこなう。	3地活協でブログ立ち上げ済み。残る地域は検討中。
区独自の取組み	地域資源を活用した世代間交流の促進	8月	大阪大空襲語り部の会	地域の戦争体験者が、中学校の生徒に語り部として空襲体験を話し、世代間交流の場をつくった。まちづくりセンターは記録作成で協力。	映像記録およびテープ起こしたテキストを作成。
		8月	なにわ区メモリーズ「浪速区襲った大空襲 戦争、そのとき浪速区は？」開催	地域の戦争体験者を招き、戦争体験について語り合う会を開催した。	30名参加。

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照